

山武農林振興センター振興普及だより

『山武のみのり』

第2号

とも 男女に輝く農村社会をめざして

去る7月13日に農村地域における男女共同参画推進を目的に活動する成東町男女共同参画推進委員（代表渡辺和代さん・構成員15名）が中心となって「男女共同参画って何?」「どうして今必要なの?」をテーマに女性農業者の集いを開催しました。



呼びかけには郡内の女性農業者約50名が集まりました。事例発表では、

八千代市で花き栽培を営む立石典子さんからは、体験談をもとに、自分らしさを出して暮らす考え方を聞きました。その後、意見交換を行い大いに語り合いました。

推進委員で構成される劇団「やってみたい座」による寸劇では、日常生活を題材に、女性の社会参画の必要性が盛り込まれ、会場からは笑いや大きくなずく姿も見られました。



参加した人からは「チャンスがあったらいろいろな場面にでてみたい」「経営内容をきちんと把握して意見を言える力をつけていきたい」などの声が聞かれ、勇気と元気をお互いがもらいました。



シリーズ - 魅力ある直売所をめざして 第2回 -

加工品の持つ魅力

安心とおいしさを提供する直売所の中で、農産物加工品は、直売所の彩りとして人気の商品です。

魅力その1「希少価値」

太巻きずし、まんじゅう、パウンドケーキ、あられ、漬け物など日持ちがしない商品は地域周辺でしか買うことができません。この直売所でしか手に入らない田舎の味・素朴さは消費者の購買意欲をかき立てます。

魅力その2「付加価値がつく」

季節に穫れすぎた野菜は古漬けや浅漬けに、果物はジャムや砂糖漬けに変身させればもちろん商品価値があがります。普段食べている家庭の味も、もしかしたら直売所の人気商品となる可能性が眠っているかもしれません。

魅力その3「作り手のぬくもりが伝わる」

「なつかしさ」「手作りのよさ」「安全」「無添加」「伝統の味」などたくさんのキーワードに象徴されるように加工品には人の手のぬくもりが伝わります。加工品をとおして、消費者との間に会話もうまれ、つながりも深まっていきます。

すでにある加工品でも消費者の生活スタイルに合った、買いやすい分量と値段を工夫することで売れる商品に変身することもあります。

このように魅力ある加工品を創り、より消費者に満足してもらうことが、直売所の発展に結びついていくのです。

- 野菜 -

注目の新野菜「葉にんにく」

「葉にんにく」という野菜を皆さんはご存知でしょうか。

あまりなじみの無い野菜ですが高知県や沖縄県などでは栽培が行われており、県内では白子町で栽培されています。

皆さんがご存知の「にんにく」は、茎や葉を切ってにんにく玉のみを収穫したのですが、「葉にんにく」というのはにんにく玉が大きくなる前の段階でやわらかい茎や葉をつけたまま抜き取り、全てを食用とします。

「にんにく」を直接食べるよりも香りがやわらかく、葉はニラよりも歯ごたえがあり、炒め物に向く野菜です。

栽培は比較的簡単で通常は専用の種球を9月上、中旬頃に植え付けます。

寒さが厳しくなってきたらトンネルをかけて保温し、生育を促進し、1月頃から収穫を始めます。

冬季限定のひとあじ違う新野菜、12月頃から店頭に出はじめます。お店で見かけたら、是非お試し下さい。



「葉にんにく」の料理レシピ

シーチキン和え

葉ニンニクを細かく切って水にさらす。
水を切って、シーチキンと和えてできあがり。

オイスターソース炒め

お好みの具材（肉、野菜など）と葉ニンニクを炒める。
塩、コショウ、オイスターソースで味付けし、できあがり。

堆肥化の基本チェック

堆肥化処理の基本は、通気性を確保することです。そのためには、オガクズ、モミガラ、戻し堆肥などで水分調整・比重調整をします。10リットルのバケツに入れた堆肥の重さが6kg程度になるように調整すると良いでしょう。

病原菌の死滅温度と時間

60 が二日以上続けば、安心できます。(表参照)

堆肥化期間はどのくらい？

分解しやすい有機物は通常約1ヶ月で分解します。セルロースやリグニンなどが多いと腐熟期間は長くなります。

処理施設の種類によっても違いますが目安として

家畜糞のみ … 2ヶ月

作物残さの混合 … 3ヶ月

木質物の混合物 … 6ヶ月

できた堆肥を等量の赤土と混ぜてコマツナの発芽状況を見るのも一つの判定法です。

病原菌等の死滅温度と時間

| | | |
|------------|------|------|
| 大腸菌 | : 60 | で20分 |
| サルモネラ菌 | : 56 | で60分 |
| ブドウ球菌 | : 50 | で10分 |
| クリプトスポリジウム | : 55 | で5分 |
| 雑草の種子 | : 60 | で2日間 |

- 花 き -

夏秋小菊の親株管理

8月～9月に咲く夏秋小菊は、収穫終了後の株から親株を育成します。作業は開花時期から逆算して行います（目安は表1）。

台刈り

株元から、芽を出させるために、開花直後、地際（3cm）で切る。10月上旬には土寄せし、新しい根を出す。

親株定植

10月下旬～11月中旬に、株を掘り上げて3～7芽程度に株分けして、親株ほ場へ定植する。（定植本数の10%程度必要）

元肥 緩効性肥料成分2～3kg/10a程度（堆肥は入れたほうが良い。）

20cm角になるように溝をほり、親株を斜めに植えます。

土と根が密着するようにたっぷり水をかける

トンネル被覆

露地親株床は、12月下旬～1月上旬にビニル（0.01）トンネルをかける（霜防止）

一月下旬に地上部を5cmに刈り込み、春に動いてきた芽を挿し芽する。

表1 親株養成作業目安

| 作 型 | 台刈 | 土寄せ | 定 植 | 挿し芽 時期 | 定 植 |
|------|------|-------|-----------------|-----------|------|
| 8月咲き | 9月上旬 | 10月上旬 | 10月下旬～ 11月中旬 | 3月下旬 | 4月中旬 |
| 9月咲き | 切花直後 | | | 4月下旬 | 5月中旬 |

シリーズ - いま - 現在を輝く -

夢をかたちに ...

山武町森で観葉植物・コニファー・花木生産をしている泰(たい)東園(とうえん)の古内(ふるうち)恵美子(えみこ)さんを紹介します。



古内さんの家では、昨年、家族経営協定を締結しました。

生産での家族労力は、恵美子さん、夫、長男の3名で、経営する3農場をそれぞれが分担しています。また、栽培している品目毎に参加する研修も分け、仕事に責任とやりがいを持たせています。

仕事を離れた趣味では、「40歳を過ぎたら生き甲斐を持てる場面が欲しい」と月に2回、朗読を習うようになりました。

また、人の役に立つことがしたいと思い、朗読のボランティア団体の町の代表となって、現在活躍をしています。

「これからは、後継者に早く経営を任せ、夫婦でゆとりを持ちたい」と話す恵美子さん。

人生の節目、節目で目標を設定し、それを達成する。自分と家族が、お互いを尊重し合い楽しく生活する。それを実践している恵美子さんの生き方は、とても輝いています。